

付表28 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(7)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
コミュニティセンターに行っただことがありますか？									
行ったことがある	92	46.0%	46	46.9%	10	58.8%	148	47.0%	0.62
知っているが行ったことない	29	14.5%	19	19.4%	2	11.8%	50	15.9%	
知らない	79	39.5%	33	33.7%	5	29.4%	117	37.1%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
コミュニティバーバーを読んだことがありますか？									
読んだことがある	129	64.5%	69	70.4%	13	76.5%	211	67.0%	0.65
知っているが読んだことない	12	6.0%	4	4.1%	0	0.0%	16	5.1%	
知らない	59	29.5%	25	25.5%	4	23.5%	88	27.9%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
あなたはMASH大阪が実施している「選べる!!1000円キャンペーン」を知っていますか？									
利用した	22	11.0%	7	7.1%	2	11.8%	31	9.8%	0.50
知っているが利用したことはない	42	21.0%	29	29.6%	4	23.5%	75	23.8%	
知らない	136	68.0%	62	63.3%	11	64.7%	209	66.3%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
あなたは「HIVサポートライン関西-HIV陽性の人とパートナー・家族のための電話相談」を知っていますか？									
知っている	38	19.0%	14	14.3%	7	41.2%	59	18.7%	0.03
知らない	162	81.0%	84	85.7%	10	58.8%	256	81.3%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
あなたは「ひよっこクラブ-HIVポジティブとわかって間もない人のためのグループミーティング」を知っていますか？									
知っている	27	13.5%	11	11.2%	4	23.5%	42	13.3%	0.38
知らない	173	86.5%	87	88.8%	13	76.5%	273	86.7%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
クラブイベントNUDEでのオリジナル郵送検査キット受取の有無									
受取	80	40.0%	33	33.7%	4	23.5%	117	37.1%	0.28
未受取	120	60.0%	65	66.3%	13	76.5%	198	62.9%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	
あなたは現在実施されている「オンラインアンケートREACH Online 2011」に回答したことがありますか？									
ある	45	22.5%	18	18.4%	2	11.8%	65	20.6%	0.46
ない	155	77.5%	80	81.6%	15	88.2%	250	79.4%	
合計	200	100.0%	98	100.0%	17	100.0%	315	100.0%	

福岡地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：山本政弘（独立行政法人国立病院機構九州医療センター・AIDS/HIV 総合治療センター部長）

研究協力者：請田貴史、川本大輔、北村紀代子、辻潤一、狭間隆司、橋口卓（Love Act Fukuoka;LAF）、牧園祐也（公益財団法人エイズ予防財団/LAF）、井上緑（独立行政法人国立病院機構九州医療センター）、塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

本研究は、平成 22 年度まで行われた「男性同性間の HIV 感染対策とその介入効果」に引き続き、福岡の MSM に対する、当事者主体の HIV 感染予防啓発活動を試行したものである。

今年度は、これまでコミュニティセンターhaco を基点に行ってきた予防啓発プログラムを継続しながら、プログラムをより効果的なものとするための見直しと検証を行った。また新たな試みとして、イベントと連動した MSM 向け HIV 抗体検査会の実施や、MSM 理解のための自治体向け研修会を実施し、福岡地域における予防啓発の普及を行った。予防啓発の効果の評価を行うために、抗体検査会受検者とイベント参加者を対象にしたアンケートを実施した。

A. 研究目的

九州は、東京や大阪などの大都市に続き、年々 MSM の HIV 感染が増加傾向にあり、感染拡大は留まることを知らない状況である。地方都市とはいえ、MSM における HIV 予防啓発は急務であり、十分な対策を講じなければならない。本研究は、九州の中でも特に MSM コミュニティの規模の大きな福岡地域における、MSM の HIV 感染予防啓発の推進とその評価、そして、地方都市での MSM に対する予防啓発普及のモデルケースの提示を目的としている。

B. 研究方法

今年度、以下のことを行った。

1. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施
2. 自治体向け研修会の実施
3. MSM 向け HIV 抗体検査会の実施
4. 既存のプログラム評価と検討

C. 研究結果

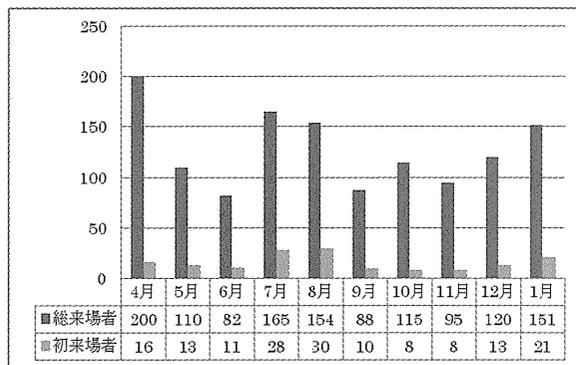
1. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施

1) コミュニティセンターhaco の運営

平成 18 年度から、MSM に対する HIV/エイズ情報提供のためのコミュニティセンターhaco を運営している。今年度も、イベントや勉強会などを開催し、MSM のコミュニティセンター誘導と予防情報の提供を行った。実施状況については【付表 1】のとおりである。また昨年度から、コミュニティセンターに来場したことの無い人を対象に開設した木曜日の「初来場者デー」を、今年度も継続して開設した（表 1、図 1）。

月	来場者数
4月	2名
5月	3名
6月	1名
7月	0名
8月	1名
9月	1名
11月	1名
12月	1名
1月	0名
計	10名

(表1) 初来場者デー来場者数



(図1) 月別総来場者数と新規来場者数の推移

2) オリジナルコンドームとコミュニティペーパーseasonのアウトリーチ

平成16年度から、コンドーム常用率を上げるための環境作りを目的として、福岡市博多区と、北九州市小倉地区を中心としたMSM向け商業施設へ、オリジナルデザインのコンドームと、予防情報を掲載したコミュニティペーパーseason（一店舗あたり25部）のアウトリーチを行っている。

今年度は、MSM向け商業施設に設置しているコンドームのディスペンサー老朽化に伴い、新たに、啓発資材を入れるケースを取り付けた改良型のディスペンサーを制作し、配布した。

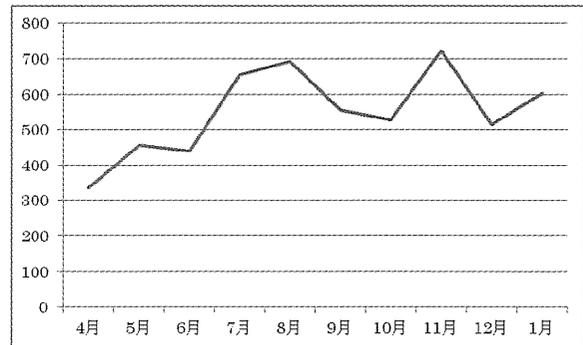
今年度の実施は下表の通りである。

日時	参加者数
6月18日	6名
6月25日	3名
7月23日	8名
8月7日	6名
9月3日	7名
9月24日	6名
11月19日	7名
11月20日	8名

3) インターネット利用者に対するホームページを通じた情報提供

インターネット利用者を対象に、ホームページを通じたHIV関連情報の提供を行った。

今年度から、若年層を中心に増加するスマートフォン利用者のニーズに対応し、ホームページをスマートフォンに対応した。



(図2) ホームページアクセス数集計

4) コミュニティや行政との連携による啓発普及

平成21年度より「福岡のコミュニティ活性化とその中でのHIV予防啓発」を目的として、ゲイバー等と協働し開催しているイベント「マルハク」を今年度も開催した。今年度は、コミュニティの夏季伝統行事となっている「浴衣祭り」に合わせ、7月16日～8月13日の約1ヶ月間に渡るMSM向け商業施設のスタンプラリーを実施した。また、haco誘導を目的としたイベント「和装撮影会」を開催した。

また昨年度、6店舗のゲイバーマスターと協働し、HIV予防啓発を目的に開催した総合スポーツ大会「RED RIBBON GAMES」（以下RRG）を、今年度も10月9日に開催した。今回は前年度の実績を元に、福岡県の後援を得た開催となった。大会の総参加者数は累計699名で、各会場では名古屋市立大学との協働による携帯を使ったアンケート調査「G-Com-Quest（GCQ）」を実施した。

2. 自治体向け研修会の実施

医療関係者や保健所等の自治体関係者に対し、HIV 診療および検査環境の改善と、MSM に対する理解の促進を目的とした研修会を実施した。九州医療センターの医師やスタッフによる HIV/エイズ診療の最新情報と、LAF によるセクシュアリティ理解の講演の二本立てを基本とした内容で、各地自治体に案内を送付し、要望のあった施設に講師が出向く「出前出張」という方法で実施した。実施状況は下記図の表の通りである。

日時	研修会名
6月29日	福岡県 HIV/エイズ検査相談研修会
7月1日	第2回福岡県保健福祉行政研修
7月20日	田川保険福祉事務所研修会
8月11日	北九州市総合保険福祉センター研修会
8月17日	九州ブロックエイズ拠点病院研修会

3. MSM 向け HIV 抗体検査会の実施

今年度、コミュニティと協働して開催した RRG に合わせ、10月10日に、中央区天神にある「さぎやまクリニック」協力の元、受検者を MSM に特化した HIV 抗体検査会を実施した。RRG のパンフレットに受検の際に必要なチケット兼フライヤーを付属させ、大会参加者およびパンフレット取得者の受検を促した。

(HIV 抗体検査会受検者対象のアンケート)

HIV 抗体検査会の受検者を対象にしたアンケートでは 60 名から有効回答を得た(付表 2-4)。回答者のうち、HIV 検査の受検経験があるものは、60 名中、43 名 (71.7%) であった。受検経験がある 43 名のうち、利用した検査機関は、保健所の即日検査の利用者が 41.9% と最も多かった。最後に受けた検査時期は、過去 1 年以上前が受検経験のある 43 名のうち 27 名であり、受検経験者 43 名のう

ち、定期的には受検していないものが 69.8% を占めていた。

なお、検査受検者 60 名のうち、2011 年の RRG 参加者は 21 名 (35%)、2010 の RRG 参加者は 10 名 (17%) であった。

4. MSM を対象とした質問紙調査 (G-Com Quest 調査)

RRG 来場者に対してアンケート調査を実施した。全国から参加者が来場するイベントであったため、359 件の有効回答を得たが、分析対象者は沖縄を除く九州地域に居住する MSM 213 名と限定した。年齢階級別の分析結果を付表 5-11 に示した。福岡県居住者が 8 割であり、29 歳以下が 2/3 近くを占める回答であった。

ゲイバーは 20-29 歳、40 歳以上の利用が高かった。ゲイナイト、スマホ向けアプリ、サークルは 20 歳代の利用が多かった。

友人・知人に HIV 感染者が「いる」の回答は 33.3%、友人・知人と HIV/AIDS について話したことが「ある」の回答は 61.0% であった。後者は年齢による差異があり、29 歳以下は 71.8% で 30 歳以上の群 (53-56%) より高かった(付表 6)。

HIV 検査受検経験割合は、生涯受検では 61.0% で、年齢別にみると 29 歳以下が 61.2%、30-39 歳 62.1%、40 歳以上 58.5% とほぼ同程度であった。また過去 1 年間の受検経験率は 29.6% で、29 歳以下 31.8%、30-39 歳 29.9%、40 歳以上 24.4% と 40 歳以上で低いことが示された(付表 7)。

コミュニティセンターへの訪問率は 45.5%、コミュニティペーパーを読んだことがある割合は 70.4%、LAF が配布しているコンドーム持ち帰り率(過去 1 年)は 58.7% と半数を超えていた。(付表 11)。

5. 既存プログラムの評価と検討

現在まで LAF が実施している予防啓発プログラムの、より効果的な実施・展開を目指し、プログラム評価と検討を行った。また同様の目的で、8月27日と9月4日に、昨年度まで行われていた「エイズ予防のための戦略研究」の報告会を行った。

D. 考察

1. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施

1) コミュニティセンターhaco の運営

今年度はマンパワーの不足により、haco のイベントや展示会を定期的に開催することができなかつたためか、総来場者数は昨年までと比較して10%ほど減少した。しかし、新規来場者数はこれまでとほぼ同等の数で推移しており、特に10代～20代前半の初来場者の増加傾向が見られた。

2) オリジナルコンドームとコミュニティペーパーseason のアウトリーチ

博多でのアウトリーチは今年度も一定の人数を確保しながら行われたが、北九州市でのアウトリーチは、協力者一人の単独アウトリーチが続いており、今後どのようなサポートを行っていくかの検討が必要である。

改良したコンドームディスペンサーの効果は、今後の経年的なコンドーム常用率やCBO認知率などの変化見て検証したい。

3) インターネット利用者に対するホームページを通じた情報提供

近年、MSMの出会いのツールとして、スマートフォンアプリの利用が急増している。今年度、LAFホームページもスマートフォンに対応したが、今後インターネットを使った効果的な介入方法を検討する中で、こういった対象のニーズの変化には柔軟に対応していく必要があると考える。

4) コミュニティや行政との連携による啓発普及

ゲイバー等との協働イベントである「マルハク」も3回目の開催となり、継続した連携体制を維持することができている。

今年度で2回目の開催となるRRGは、福岡県の後援を受けた開催となり、行政とコミュニティが協働した予防啓発活動の一つのモデルケースを提示することができた。次回のRRG開催は二年後を予定している。

2. 自治体向け研修会の実施

医療関係者や保健所等の自治体関係者も、個別施策層としてのMSMという存在を知ってはいるものの、実際に当事者の声を聞くという機会がほとんどなかつたため、研修会の開催は意義のあるものであった。増加するHIV感染者の診療を、拠点病院以外の病院やクリニックに広げていくためにも、このような取り組みは非常に重要である。

3. MSM向けHIV抗体検査会の実施

結果は受検者61名で、その内、要確認検査判定3名であった。この要確認検査判定の3名は、2週間のうちに医療センターを受診し、全員の陽性が確認された。陽性率は5%ほどであった。これは、他の地域で行われているMSM特化の検査会とほぼ同等の値であり、日本におけるMSM間でのHIV感染増加が示唆された。

また、今回多くの受検者が集まったのは、RRGと合わせたことも大きい。アクセスし易い中央区天神という場所にクリニックがあったことや、実施日が祝日であったこと、さらに受付が10時～17時までと長時間であったことも要因として大きいと考えられる。保健所等におけるHIV検査の受検者を今以上に増やすためには、時間や場所等の利便性の向上を検討する必要があると示唆される。

4. 既存のプログラム評価と検討

ロジックモデルにより既存プログラムの評価を行い、現在はその結果を元に、来年度に向けたプログラムの改善を検討している。さらに、首都圏・阪神圏の戦略研究の成果を参考にしながら、来年度はより効果的なプログラムの展開を考えたい。

E. 結語

新たな試みとして行った MSM 向け HIV 抗体検査会は、日本における MSM の HIV 感染増加を示唆するとともに、HIV 検査に対するニーズを明らかにした。HIV 検査は全国的に受検者の減少が続いているが、ニーズに対応すれば受検者は増える。早期発見早期治療を目指すためにも、行政における検査環境の改善は必須である。

これまで行ってきた予防啓発プログラムは今年度も継続できたが、それぞれのプログラムも現在の状況に合わせ見直し、新たな展開を考える必要がある。2009年と2010年に行ったバーアンケート調査や、RRG で行った GCQ など、これまでに行ってきた調査の結果も踏まえ、より効果的な予防啓発方法を検討していきたい。

F. 発表論文等

(研究論文)

1. Rumi Minami, Masahiro Yamamoto, Soichiro Takahama, Hitoshi Ando, Tomoya Miyamura, Eiichi Suematsu: Comparison of influence of four classes of HIV antiretrovirals on adipogenetic differentiation: the minimal effects of raltegravir and atazanavir, *J Infect Chemother*, 17, 183-188, 2011
2. Watanabe D, Ibe S, Uehira T, Minami R, Sasakawa A, Yajima K, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Taniguchi T, Kasai D, Nishida Y, Yamamoto M, Kaneda, T, Shirasaka: T.

Cellular HIV-1 DNA levels in patients receiving antiretroviral therapy strongly correlate with therapy initiation timing but not with therapy duration, *BMC Infect Dis*, 24 (11),146, 2011

(学会発表)

1. Rumi Minami, Soitiro Takahama, Junichi Kiyasu, Masahiro Yamamoto: The Effect of Antiretroviral Drugs on Adiponectin R1/R2 Receptor in Hepatocytes with and without HCV Infection, The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, August 26-30, 2011, Busan, Korea
2. 後藤敏孝, 高田徹, 佐藤栄一, 尾畑由美子, 田村和夫, 南留美, 山本政弘: 皮膚病変と下部消化管病変を伴い抗レトロウイルス療法開始後に消褪したCD30陽性T細胞増殖性疾患のエイズの1例, 第85回日本感染症学会総会, 平成23年4月21日, 東京
3. 村田昌之, 古庄憲浩, 小川栄一, 平峯智, 竹嶋功人, 大西八郎, 谷合啓明, 南留美, 山本政弘, 林純: 福岡市におけるHBV/HIV重複感染例についての検討, 第85回日本感染症学会総会, 平成23年4月21日, 東京
4. 高濱宗一郎, 喜安純一, 南留美, 山本政弘: HIV感染症と血清尿酸値との関連性, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成23年11月30日, 東京
5. 服部純子, 椎野禎一郎, 瀧永博之, 林田庸総, 吉田繁, 千葉仁志, 小池隆夫, 佐々木悟, 伊藤俊広, 内田和江, 原孝, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 近藤真規子, 今井光信, 長島真美, 貞升健志, 古賀一郎, 太田康男, 山元泰之, 福武勝幸, 加藤真吾, 藤井毅, 岩本愛吉, 西澤雅子, 仲宗根正, 岡慎一, 伊部史朗, 横幕能行, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 渡辺香奈子, 渡邊大, 白阪琢磨, 小島洋子, 森治代, 中桐逸博, 高田昇, 木村昭郎, 南留美, 山本政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦亙: 新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性頻度の

- 動向, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
6. 大石英樹, 石川奈緒子, 南留美, 高濱宗一郎, 喜安純一, 石橋誠, 山本政弘:HCV/HIV 重複感染例において INF の治療効果に影響を及ぼす因子の改正器, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
 7. 南留美, 高濱宗一郎, 喜安純一, 山本政弘: 抗 HIV 療法による血清中 AGE (advanced glycation endproducts) および酸化ストレスマーカーの変化, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
 8. ○新ヶ江章友, 塩野徳史, 金子典代, 牧園裕也, 請田貴史, 川本大輔, 北村紀代子, 辻潤一, 橋口卓, 狭間隆司, 山本政弘, 市川誠一: 福岡のゲイ商業施設利用者を対象とした HIV/AIDS をめぐる啓発活動効果評価, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 12 月 1 日, 東京
 9. ○塩野徳史, 新ヶ江章友, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 生島嗣, 鬼塚哲郎: ゲイ向け商業施設利用者対象の質問紙調査による地域別予防啓発事業の評価に関する研究, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 12 月 1 日, 東京
 10. 西島健, 高野操, 石坂美千代, 瀧永博之, 菊池嘉, 遠藤知之, 堀場昌英, 金田暁, 藤井毅, 内藤俊夫, 吉田正樹, 立川夏夫, 横幕能行, 藤井輝久, 高田清武, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 田邊嘉也, 満屋裕昭, 岡慎一: HIV 感染症の初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定してエプジコムとツルバダを無作為割り付けするオープンラベル多施設臨床試験: ET study, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 12 月 1 日, 東京
 11. 喜安純一, 高濱宗一郎, 南留美, 山本政弘: HIV 感染に合併した劇症型サイトメガロウイルス感染症の一救命例, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
 12. 辻麻理子, 大城市子, 吉元なるよ, 井村弘子, 渡久山朝裕, 今村葉子, 飯田昌子, 浅井いづみ, 徳田由香, 柳田哲弘, 大嶋美登子, 江崎百美子, 緒方稔, 青山のぞみ, 才津文子, 堀川悦夫, 松島淳, 長浦由紀, 村上ゆき, 阪木淳子, 山本政弘:九州ブロックにおけるカウンセリング体制整備の実践, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
 13. 辻典子, 田村恵子, 鈴木智子, 須貝恵, 小塚雅子, 井内亜紀子, 濱本京子, 吉用緑, 山本政弘: エイズ拠点病院から地域医療機関への患者紹介の現状 その 1 - 拠点病院から一般病院への紹介 -, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 12 月 1 日, 東京
 14. 吉用緑, 辻典子, 田村恵子, 鈴木智子, 須貝恵, 小塚雅子, 井内亜紀子, 濱本京子, 山本政弘: エイズ拠点病院から地域医療機関への患者紹介の現状 その 2 - 拠点病院から診療所/クリニックへの紹介 -, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 平成 23 年 12 月 1 日, 東京
 15. 平賀紀行, 高久陽介, 大槻知子, 柿沼章子, 大平勝美, 山本政弘: HIV 感染者によるエイズ対策への参画, 第 25 回日本エイズ学会学術集会総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京
 16. 渡邊大, 上平朝子, 白阪琢磨, 味澤篤, 今村顕史, 菅沼明彦, 濱口元洋, 横幕能行, 南留美, 高濱宗一郎, 白野倫徳, 後藤哲志: 急性 HIV 感染症における他のウイルス感染症との関連性の検討, 第 25 回日本エイズ学会学術集会総会, 平成 23 年 11 月 30 日, 東京

付表1 コミュニティセンターhaco の運営状況
(イベント/貸し出し)

開催日	タイトル	来場者数
4月3日	haco フリマ/かまめし	69(5)名
4月13日	第一回マルハク説明会	25(1)名
4月17日	Guzzule Pit ライブ	18(1)名
5月28日	手話教室「FGSC」	27(3)名
5月29日	にじだまり	9(4)名
6月11日	ケボラジ vol.3	14(2)名
6月12日	にじだまり	10(4)名
6月18日	手話教室「FGSC」	16(1)名
6月19日	かまめし	11(1)名
7月2日	ピンクレディー振付教室	4名
7月6日	第二回マルハク説明会	27(1)名
7月10日	にじだまり	22(5)名
7月16日	マルハク和装撮影会	43(17)名
7月30日	手話教室「FGSC」	21名
8月13日	葉月の和装撮影会	30(6)名
8月24日	にじだまり/かまめし	26(4)名
9月7日	RED RIBBON GAMES ミーティング	7名
9月10日	手話教室「FGSC」	23(1)名
9月23日	にじだまり	9(6)名
9月24日	手話教室「FGSC」	18名
10月15日	手話教室「FGSC」	13名
10月16日	にじだまり	14(1)名
10月29日	手話教室「FGSC」	16名
11月6日	にじだまり	21(2)名
11月12日	手話教室「FGSC」	11(1)名
11月26日	手話教室「FGSC」	21(1)名
12月11日	にじだまり	21(7)名
12月18日	かまめし	26名
12月24日	手話教室「FGSC」	17名

(展示会)

開催日	タイトル	来場者数
4月1日～5月1日	Sound Summit 展	203(16)名
5月7日～5月28日	福岡 BSJ 吹奏楽団 2nd CONCERT 開催記念展	93(12)名
6月4日～6月25日	やっぱ愛ダホ! in福岡 2011 メッセージ展	75(11)名
7月22日～8月21日	和装コンテスト	172(30)名
1月28日～1月29日	GYPS 展示会	71(18)名

(勉強会)

開催日	タイトル	来場者数
8月5日	ゲイバーマスター向け勉強会	21名
8月26日	「we 'st」 vol.1 -HIV-	5名
10月28日	「we 'st」 vol.2 -AIDS-	3名
12月9日	「we 'st」 vol.3 - HIV/AIDS の検査-	5名

※ () 内は新規来場者数

付表2 Red Ribbon Games 検査会参加者における居住地別分析(1)

居住地	居住地				合計	Pearson カイ 2 乗	
	福岡県		他地域				
居住地							
福岡市	21	52.5%	0	0.0%	21	35.0%	<0.01
北九州市	4	10.0%	0	0.0%	4	6.7%	
福岡市・北九州市を除く福岡県	15	37.5%	0	0.0%	15	25.0%	
福岡県以外の九州	0	0.0%	8	40.0%	8	13.3%	
九州以外	0	0.0%	9	45.0%	9	15.0%	
無回答	0	0.0%	3	15.0%	3	5.0%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
年齢							
29歳以下	12	30.0%	3	15.0%	15	25.0%	0.32
30-39歳	19	47.5%	10	50.0%	29	48.3%	
40歳以上	9	22.5%	6	30.0%	15	25.0%	
無回答	0	0.0%	1	5.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
就業形態							
正規雇用	32	80.0%	16	80.0%	48	80.0%	0.06
非正規雇用	6	15.0%	0	0.0%	6	10.0%	
働いていない	2	5.0%	1	5.0%	3	5.0%	
その他	0	0.0%	2	10.0%	2	3.3%	
無回答	0	0.0%	1	5.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
あなたは現在一人暮らしですか？							
はい(1人暮らし)	28	70.0%	13	65.0%	41	68.3%	0.67
いいえ	11	27.5%	7	35.0%	18	30.0%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
過去6ヶ月間に下記の施設を利用したことがありますか？(複数回答)							
ゲイバー	27	67.5%	16	80.0%	43	71.7%	0.45
ゲイナイト	18	45.0%	4	20.0%	22	36.7%	0.07
ゲイショップ	14	35.0%	8	40.0%	22	36.7%	0.58
有料のハッテン場	21	52.5%	8	40.0%	29	48.3%	0.32
野外のハッテン場	2	5.0%	0	0.0%	2	3.3%	0.34
ハッテン場で有名な公共施設	10	25.0%	2	10.0%	12	20.0%	0.20
出会い系サイト	23	57.5%	6	30.0%	29	48.3%	0.05
SNS(HuGsやメンミック、mixiなど)	22	55.0%	11	55.0%	33	55.0%	0.58
スマートフォンのアプリ	17	42.5%	8	40.0%	25	41.7%	0.56
あなたは現在、健康保険を持っていますか？							
国民健康保険	9	22.5%	5	25.0%	14	23.3%	0.59
職場の健康保険	29	72.5%	15	75.0%	44	73.3%	
無回答	2	5.0%	0	0.0%	2	3.3%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
あなたは、友達や知り合いにHIVやエイズに感染している人はいらっしゃいますか？							
いる	10	25.0%	4	20.0%	14	23.3%	0.94
いると思う	9	22.5%	5	25.0%	14	23.3%	
いないと思う	11	27.5%	5	25.0%	16	26.7%	
いない	2	5.0%	2	10.0%	4	6.7%	
わからない	7	17.5%	4	20.0%	11	18.3%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	

付表3 Red Ribbon Games 検査会参加者における居住地別分析(2)

	居住地				合計	Pearson カイ 2 乗	
	福岡県		他地域				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？							
ある	29	72.5%	14	70.0%	43	71.7%	0.84
ない（今回が初めての検査）	11	27.5%	6	30.0%	17	28.3%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがあるのはどこですか？（複数回答）							
保健所の即日検査	13	44.8%	5	35.7%	18	41.9%	0.45
保健所の夜間検査	3	10.3%	2	14.3%	5	11.6%	0.58
保健所の即日・夜間以外の検査	9	31.0%	2	14.3%	11	25.6%	0.25
病院	3	10.3%	2	14.3%	5	11.6%	0.58
クリニック・医院・診療所	0	0.0%	6	42.9%	6	14.0%	<0.01
その他	1	3.4%	0	0.0%	1	2.3%	0.46
今回を除いて、一番最近に受けたHIV検査（エイズ検査）はいつでしたか？							
過去1年の間	12	30.0%	3	15.0%	15	25.0%	0.49
過去1年より前	16	40.0%	11	55.0%	27	45.0%	
生涯なし	11	27.5%	6	30.0%	17	28.3%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
あなたは定期的にHIV検査（エイズ検査）を受けていますか？							
定期的に受けている	10	34.5%	2	14.3%	12	27.9%	0.27
定期的には受けていない	18	62.1%	12	85.7%	30	69.8%	
無回答	1	3.4%	0	0.0%	1	2.3%	
合計	29	100.0%	14	100.0%	43	100.0%	
あなたはこれまでに男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	39	97.5%	20	100.0%	59	98.3%	0.48
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	38	95.0%	15	75.0%	53	88.3%	0.02
ない	1	2.5%	5	25.0%	6	10.0%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*1							
非常用	26	68.4%	8	53.3%	34	64.2%	0.30
常用	12	31.6%	7	46.7%	19	35.8%	
合計	38	100.0%	15	100.0%	53	100.0%	
過去6ヶ月間に彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況*2							
非常用	21	61.8%	8	53.3%	29	59.2%	0.58
常用	13	38.2%	7	46.7%	20	40.8%	
合計	34	100.0%	15	100.0%	49	100.0%	
過去6ヶ月間に友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況*3							
非常用	20.0	62.5%	4.0	33.3%	24	54.5%	0.08
常用	12.0	37.5%	8.0	66.7%	20	45.5%	
合計	32.0	100.0%	12.0	100.0%	44	100.0%	
過去6ヶ月間にその場限りの相手とのコンドーム使用状況*4							
非常用	20	62.5%	2	18.2%	22	51.2%	0.01
常用	12	37.5%	9	81.8%	21	48.8%	
合計	32	100.0%	11	100.0%	43	100.0%	

*1 生涯のアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*2 過去6ヶ月間に彼氏・恋人とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*3 過去6ヶ月間に友達やセクフレなど恋人ではない相手とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*4 過去6ヶ月間にその場限りの相手とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

付表4 Red Ribbon Games 検査会参加者における居住地別分析(3)

	居住地				合計	Pearson カイ2乗	
	福岡県		他地域				
今回の検査会をどのようにして知りましたか？(複数回答)							
RED RIBBON GAMESの資材	31	77.5%	18	90.0%	49	81.7%	0.24
RED RIBBON GAMESのHP	6	15.0%	2	10.0%	8	13.3%	0.59
コミュニティペーパーseason	5	12.5%	1	5.0%	6	10.0%	0.36
hacoやLAFのスタッフから	6	15.0%	0	0.0%	6	10.0%	0.07
LAFのホームページ/twitter	3	7.5%	0	0.0%	3	5.0%	0.21
恋人・友達など身近な人から	9	22.5%	0	0.0%	9	15.0%	0.02
ゲイバーのママなど知り合いから	3	7.5%	1	5.0%	4	6.7%	0.71
今回の検査であなたが心配に思っていることは以下のどれにあてはまりますか？(複数回答)							
男性とのオーラルセックス	34	85.0%	17	85.0%	51	85.0%	1.00
男性とのアナルセックス	33	82.5%	13	65.0%	46	76.7%	0.13
女性との性的接触	5	12.5%	1	5.0%	6	10.0%	0.36
注射針などの共用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
その他	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	0.48
あなたはこれまでに“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？							
よくあった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.16
時々あった	19	47.5%	7	35.0%	26	43.3%	
あまりなかった	20	50.0%	10	50.0%	30	50.0%	
全くなかった	1	2.5%	3	15.0%	4	6.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
過去6ヶ月間に不安に感じたことはありましたか？							
よくあった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.22
時々あった	15	37.5%	3	15.0%	18	30.0%	
あまりなかった	19	47.5%	12	60.0%	31	51.7%	
全くなかった	5	12.5%	5	25.0%	10	16.7%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
あなたは2011年(今年)のRED RIBBON GAMESに参加しましたか？							
参加した	11	27.5%	10	50.0%	21	35.0%	0.20
参加していない	28	70.0%	10	50.0%	38	63.3%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	
あなたは2010年(去年)のRED RIBBON GAMESに参加しましたか？							
参加した	8	20.0%	2	10.0%	10	16.7%	0.46
参加していない	31	77.5%	18	90.0%	49	81.7%	
無回答	1	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	
合計	40	100.0%	20	100.0%	60	100.0%	

付表5 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(1)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
居住地域									
福岡県	69	81.2%	66	75.9%	33	80.5%	168	78.9%	0.23
佐賀県	3	3.5%	5	5.7%	1	2.4%	9	4.2%	
長崎県	6	7.1%	6	6.9%	1	2.4%	13	6.1%	
熊本県	0	0.0%	1	1.1%	2	4.9%	3	1.4%	
大分県	4	4.7%	0	0.0%	1	2.4%	5	2.3%	
宮崎県	3	3.5%	8	9.2%	2	4.9%	13	6.1%	
鹿児島県	0	0.0%	1	1.1%	1	2.4%	2	0.9%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
性的指向									
ゲイ(同性愛者)	74	87.1%	77	88.5%	36	87.8%	187	87.8%	0.68
バイセクシュアル(両性愛者)	11	12.9%	7	8.0%	4	9.8%	22	10.3%	
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
わからない	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%	
決めたくない	0	0.0%	1	1.1%	1	2.4%	2	0.9%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？									
一人暮らし	42	49.4%	39	44.8%	29	70.7%	110	51.6%	0.02
家族と同居	32	37.6%	30	34.5%	5	12.2%	67	31.5%	
家族以外と同居	11	12.9%	18	20.7%	7	17.1%	36	16.9%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
現在、あなたの雇用形態は次のどれにあてはまりますか？									
正規雇用	57	67.1%	63	72.4%	30	73.2%	150	70.4%	0.01
非正規雇用	16	18.8%	19	21.8%	3	7.3%	38	17.8%	
働いてない	9	10.6%	3	3.4%	2	4.9%	14	6.6%	
その他	3	3.5%	2	2.3%	6	14.6%	11	5.2%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
あなたは現在、結婚していますか？									
結婚している	-	-	-	-	-	-	-	-	-
結婚していない	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？									
国民健康保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職場の健康保険	-	-	-	-	-	-	-	-	
被扶養者の健康保険(家族・親族等の扶養)	-	-	-	-	-	-	-	-	
持っていない	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	

付表6 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(2)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
過去6ヵ月間に、ゲイバーをどのくらい利用しましたか？									
よく利用した(毎週1回以上)	31	36.5%	17	19.5%	14	34.1%	62	29.1%	0.01
まあまあ利用した	37	43.5%	42	48.3%	22	53.7%	101	47.4%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	9	10.6%	24	27.6%	3	7.3%	36	16.9%	
全く利用しなかった	8	9.4%	4	4.6%	2	4.9%	14	6.6%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヵ月間に、有料ハッテン場をどのくらい利用しましたか？									
よく利用した(毎週1回以上)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まあまあ利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全く利用しなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
次の中で過去6ヵ月間に利用したものはありますか？(複数回答)									
ゲイバー	74	87.1%	79	90.8%	39	95.1%	192	90.1%	0.35
ゲイナイト	38	44.7%	28	32.2%	8	19.5%	74	34.7%	0.02
ゲイショップ	22	25.9%	21	24.1%	12	29.3%	55	25.8%	0.83
PC出会い系サイト	20	23.5%	13	14.9%	8	19.5%	41	19.2%	0.36
携帯出会い系サイト	30	35.3%	29	33.3%	16	39.0%	75	35.2%	0.82
mixiなどのSNS	57	67.1%	50	57.5%	26	63.4%	133	62.4%	0.43
エロ系SNS	18	21.2%	20	23.0%	13	31.7%	51	23.9%	0.42
スマートフォンのゲイ向けアプリ	43	50.6%	32	36.8%	13	31.7%	88	41.3%	0.07
ゲイ向けサークル	26	30.6%	17	19.5%	6	14.6%	49	23.0%	0.08
ゲイ向け合コン	5	5.9%	5	5.7%	0	0.0%	10	4.7%	0.29
ゲイの乱パ	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0.47
有料のハッテン場	24	28.2%	23	26.4%	13	31.7%	60	28.2%	0.83
野外のハッテン場	2	2.4%	3	3.4%	4	9.8%	9	4.2%	0.14
ハッテン場で有名な公共施設	11	12.9%	8	9.2%	9	22.0%	28	13.1%	0.14
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？									
いる	24	28.2%	28	32.2%	19	46.3%	71	33.3%	0.27
いると思う	17	20.0%	18	20.7%	11	26.8%	46	21.6%	
いないと思う	20	23.5%	17	19.5%	4	9.8%	41	19.2%	
いない	4	4.7%	8	9.2%	1	2.4%	13	6.1%	
わからない	20	23.5%	16	18.4%	6	14.6%	42	19.7%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？									
ある	46	54.1%	34	39.1%	17	41.5%	97	45.5%	0.07
ない	20	23.5%	37	42.5%	12	29.3%	69	32.4%	
彼氏・恋人がいなかった	19	22.4%	16	18.4%	12	29.3%	47	22.1%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？									
ある	61	71.8%	46	52.9%	23	56.1%	130	61.0%	0.03
ない	24	28.2%	41	47.1%	18	43.9%	83	39.0%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	

付表7 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(3)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗		
	29歳以下		30-39歳		40歳以上					
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けようと思ったことはありますか？										
ある	70	82.4%	77	88.5%	29	70.7%	176	82.6%	0.05	
ない	15	17.6%	10	11.5%	12	29.3%	37	17.4%		
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%		
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？										
ある	52	61.2%	54	62.1%	24	58.5%	130	61.0%	0.93	
ない	33	38.8%	33	37.9%	17	41.5%	83	39.0%		
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%		
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けた場所はどこですか？(複数回答)										
保健所の通常検査	27	31.8%	30	27.6%	10	24.4%	67	31.5%	0.84	
保健所の即日検査	22	25.9%	18	20.7%	7	17.1%	47	22.1%	0.80	
保健所の夜間検査	0	0.0%	2	2.3%	2	4.9%	4	1.9%	0.41	
医療センターなどの病院	3	3.5%	7	8.0%	3	7.3%	13	6.1%	0.76	
クリニック・医院・診療所	7	8.2%	4	4.6%	2	4.9%	13	6.1%	0.86	
郵送検査キット	3	3.5%	1	1.1%	1	2.4%	5	2.3%	0.87	
ゲイ向けの日曜検査	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	1	0.5%	0.35	
その他	1	1.2%	2	2.3%	1	2.4%	4	1.9%	0.97	
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？										
ある	27	31.8%	26	29.9%	10	24.4%	63	29.6%	0.82	
ない	24	28.2%	27	31.0%	12	29.3%	63	29.6%		
1年以上前に陽性を確認	1	1.2%	0	0.0%	1	2.4%	2	0.9%		
答えたくない	0	0.0%	1	1.1%	1	2.4%	2	0.9%		
生涯受検経験なし	33	38.8%	33	37.9%	17	41.5%	83	39.0%		
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%		
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けた場所はどこですか？(複数回答)										
保健所の通常検査	15	17.6%	12	13.8%	2	4.9%	29	13.6%	0.63	
保健所の即日検査	11	12.9%	11	12.6%	5	12.2%	27	12.7%	0.97	
保健所の夜間検査	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
医療センターなどの病院	1	1.2%	2	2.3%	2	4.9%	5	2.3%	0.76	
クリニック・医院・診療所	2	2.4%	2	2.3%	2	4.9%	6	2.8%	0.89	
郵送検査キット	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
その他	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%	0.87	

付表8 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(4)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？									
ある	84	98.8%	87	100.0%	40	97.6%	211	99.1%	0.39
ない	1	1.2%	0	0.0%	1	2.4%	2	0.9%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？									
ある	78	91.8%	84	96.6%	39	95.1%	201	94.4%	0.39
ない	7	8.2%	3	3.4%	2	4.9%	12	5.6%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヶ月間のオーラルセックス経験									
なし	35	41.2%	31	35.6%	23	56.1%	89	41.8%	0.09
あり	50	58.8%	56	64.4%	18	43.9%	124	58.2%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヶ月間の薬物併用経験(ラッシュ・ゴメオ・バイアグラ・その他のセックスドラッグ等)									
いずれも利用なし	63	74.1%	78	89.7%	27	65.9%	168	78.9%	<0.01
いずれか利用	22	25.9%	9	10.3%	14	34.1%	45	21.1%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？									
ある	39	45.9%	41	47.1%	14	34.1%	94	44.1%	0.35
ない	46	54.1%	46	52.9%	27	65.9%	119	55.9%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？									
いつも持っていた	37	43.5%	46	52.9%	25	61.0%	108	50.7%	0.13
時々持っていた	17	20.0%	19	21.8%	10	24.4%	46	21.6%	
持っていなかった	31	36.5%	22	25.3%	6	14.6%	59	27.7%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	

付表9 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(5)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？*1									
現在から過去6ヵ月間の間	64	82.1%	69	82.1%	33	84.6%	166	82.6%	0.90
過去6ヵ月間から過去1年間の間	2	2.6%	1	1.2%	0	0.0%	3	1.5%	
1年以上前	11	14.1%	11	13.1%	5	12.8%	27	13.4%	
覚えていない	1	1.3%	3	3.6%	1	2.6%	5	2.5%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
一番最近にアナルセックスをした相手はどれにあてはまりますか？*1									
彼氏や恋人	34	43.6%	37	44.0%	12	30.8%	83	41.3%	0.67
友達やセクフレ	23	29.5%	27	32.1%	15	38.5%	65	32.3%	
その場限りの相手	20	25.6%	20	23.8%	12	30.8%	52	25.9%	
その他	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
そのときの相手とアナルセックスをしたときに、コンドームを使用しましたか？*1									
使用	47	60.3%	49	58.3%	22	56.4%	118	58.7%	1.00
不使用	27	34.6%	31	36.9%	15	38.5%	73	36.3%	
覚えていない	4	5.1%	4	4.8%	2	5.1%	10	5.0%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
そのときの相手と、初めて知り合ったのはどこですか？									
ゲイバー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゲイナイト	-	-	-	-	-	-	-	-	
ゲイショップ	-	-	-	-	-	-	-	-	
PC出会い系	-	-	-	-	-	-	-	-	
携帯出会い系	-	-	-	-	-	-	-	-	
mixiなどのSNS	-	-	-	-	-	-	-	-	
エロ系SNS	-	-	-	-	-	-	-	-	
スマートフォンのゲイ向けアプリ	-	-	-	-	-	-	-	-	
ゲイ向けサークル	-	-	-	-	-	-	-	-	
ゲイ向け合コン	-	-	-	-	-	-	-	-	
ゲイの乱バ	-	-	-	-	-	-	-	-	
有料ハッテン場	-	-	-	-	-	-	-	-	
野外ハッテン場	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハッテン場で有名な公共施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
覚えていない	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	
そのときセックスする前にコンドームについてどのように思っていましたか？*1									
使いたいと思っていた	47	60.3%	44	52.4%	27	69.2%	118	58.7%	0.66
使いたいと思っていなかった	7	9.0%	11	13.1%	2	5.1%	20	10.0%	
相手に合わせようと思っていた(相手次第)	19	24.4%	22	26.2%	7	17.9%	48	23.9%	
わからない/覚えていない	5	6.4%	7	8.3%	3	7.7%	15	7.5%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
そのときコンドームやローションは手の届く所にありましたか？*1									
コンドームもローションもあった	59	75.6%	63	75.0%	28	71.8%	150	74.6%	0.71
コンドームだけあった	4	5.1%	2	2.4%	1	2.6%	7	3.5%	
ローションだけあった	11	14.1%	9	10.7%	7	17.9%	27	13.4%	
コンドームもローションもなかった	2	2.6%	2	2.4%	1	2.6%	5	2.5%	
わからない/覚えていない	2	2.6%	8	9.5%	2	5.1%	12	6.0%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	

*1生涯のアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

付表10 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(6)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
過去6ヶ月間のアナルセックス経験*1									
なし	14	17.9%	15	17.9%	6	15.4%	35	17.4%	0.93
あり	64	82.1%	69	82.1%	33	84.6%	166	82.6%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
過去6ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況*2									
非常用	40	62.5%	45	65.2%	14	42.4%	99	59.6%	0.08
常用	24	37.5%	24	34.8%	19	57.6%	67	40.4%	
合計	64	100.0%	69	100.0%	33	100.0%	166	100.0%	
過去6ヶ月間に彼氏や恋人などの相手とアナルセックスをしましたか?*1									
なし	36	46.2%	47	56.0%	25	64.1%	108	53.7%	0.16
あり	42	53.8%	37	44.0%	14	35.9%	93	46.3%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況*3									
非常用	28	66.7%	23	62.2%	7	50.0%	58	62.4%	0.54
常用	14	33.3%	14	37.8%	7	50.0%	35	37.6%	
合計	42	100.0%	37	100.0%	14	100.0%	93	100.0%	
過去6ヶ月間に友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とアナルセックスをしましたか?*1									
なし	47	60.3%	54	64.3%	24	61.5%	125	62.2%	0.87
あり	31	39.7%	30	35.7%	15	38.5%	76	37.8%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況*4									
非常用	23	74.2%	19	63.3%	7	46.7%	49	64.5%	0.19
常用	8	25.8%	11	36.7%	8	53.3%	27	35.5%	
合計	31	100.0%	30	100.0%	15	100.0%	76	100.0%	
過去6ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックスをしましたか?*1									
なし	56	71.8%	65	77.4%	26	66.7%	147	73.1%	0.43
あり	22	28.2%	19	22.6%	13	33.3%	54	26.9%	
合計	78	100.0%	84	100.0%	39	100.0%	201	100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況*5									
非常用	14	63.6%	8	42.1%	5	38.5%	27	50.0%	0.25
常用	8	36.4%	11	57.9%	8	61.5%	27	50.0%	
合計	22	100.0%	19	100.0%	13	100.0%	54	100.0%	

*1生涯のアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*2過去6ヶ月間のアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*3過去6ヶ月間に彼氏・恋人とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*4過去6ヶ月間に友達やセクフレなど恋人ではない相手とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

*5過去6ヶ月間にその場限りの相手とのアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数は異なる

付表 11 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire) 年齢別分析(7)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
コミュニティセンターに行っただことがありますか？									
行ったことがある	45	52.9%	33	37.9%	19	46.3%	97	45.5%	0.08
知っているが行ったことない	17	20.0%	33	37.9%	9	22.0%	59	27.7%	
知らない	23	27.1%	21	24.1%	13	31.7%	57	26.8%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
コミュニティペーパーを読んだことがありますか？									
読んだことがある	60	70.6%	58	66.7%	32	78.0%	150	70.4%	0.44
知っているが読んだことない	3	3.5%	7	8.0%	3	7.3%	13	6.1%	
知らない	22	25.9%	22	25.3%	6	14.6%	50	23.5%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
配布コンドームを持ち帰ったことがありますか？									
過去1年間に持ち帰った	48	56.5%	50	57.5%	27	65.9%	125	58.7%	0.79
1年以上前に持ち帰った	5	5.9%	8	9.2%	4	9.8%	17	8.0%	
知っているが持ち帰ったことない	9	10.6%	9	10.3%	4	9.8%	22	10.3%	
知らない	23	27.1%	20	23.0%	6	14.6%	49	23.0%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
これまでにキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？									
見た	55	64.7%	60	69.0%	23	56.1%	138	64.8%	0.36
見たことはない	30	35.3%	27	31.0%	18	43.9%	75	35.2%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
あなたは去年のRedRibbonGamesに参加しましたか？									
参加した	37	43.5%	55	63.2%	26	63.4%	118	55.4%	0.02
参加してない	48	56.5%	32	36.8%	15	36.6%	95	44.6%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	
あなたは現在実施されている「オンラインアンケートREACH Online 2011」に回答したことがありますか？									
ある	18	21.2%	16	18.4%	8	19.5%	42	19.7%	0.90
ない	67	78.8%	71	81.6%	33	80.5%	171	80.3%	
合計	85	100.0%	87	100.0%	41	100.0%	213	100.0%	

沖縄地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学 准教授）

研究協力者：仲村秀太、田里大輔、仲里愛、原永修作、比嘉 太、

藤田次郎（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学）、

宮城京子、前田サオリ（琉球大学医学部附属病院看護部）

金城健、城間元（公益財団法人エイズ予防財団/nankr 沖縄）

研究要旨

目的：

研究Ⅰ．沖縄地域の MSM における HIV や性感染症に関連した実態と予防行動を年齢層別に把握することを目的とした。

研究Ⅱ．沖縄県の MSM に対して地方都市向けの HIV 予防啓発プログラムの開発を検討した。

研究方法：

研究Ⅰ．沖縄県那覇市において当事者を中心とした NGO 団体 nankr と協働し質問紙調査を実施した。実施期間は 2011 年 10 月 2 日、10 月 9 日、10 月 23 日であった。配布方法は、nankr が関係を構築しているゲイ向けイベントにおいて、アンケートの案内カードを配布し、回答者は QR コードや URL からアンケートサイトに直接アクセスをした。対象者がアンケートサイトにアクセスし、回答を入力すると、(株) マイビジネスサービスの管理するサーバに情報が蓄積される仕組みとした。回答に協力したものには謝礼として、ゲイ向け商業施設利用のドリンク料金ディスカウントチケットをメールで配布した。全回答数は 264 件（重複回答を除く）であった。質問紙構成は、基本属性、利用施設、予防介入プログラムへの接触状況、HIV 抗体検査の受検経験、性感染症の既往、性行為経験およびコンドームの使用頻度、性交時の併用品など計 39 問であった。本報告は複数回答者、年齢無回答を除き、沖縄県在住のゲイまたはバイセクシュアル男性または MSM の 213 名を対象とした。年齢層は 29 歳以下、30-39 歳、40 歳以上の 3 カテゴリーに分類し、分析を行った。データの集計には SPSS19.0ver を使用した。なお、本調査研究の実施に関しては名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た。

研究Ⅱ．1. コミュニティセンター運営方法。2. HIV 予防啓発プログラム。3. mabui への誘導プログラム。4. ゲイバーへのアプローチ方法。5. ゲイバーへ行かない層へのアプローチ方法。6. インターネット利用者層へのアプローチ方法。7. 沖縄に観光で訪れる方へのアプローチ方法。8. 新しい媒体への取り組み。9. 行政との連携方法。

結果：

研究Ⅰ．利用施設はゲイバーが大多数であり、次いでハッテン場も 5 割近くが利用していた。利用するサイトは地域の出会い系サイト、mixi、PC 系サイトの順に高かった。HIV 感染に対する知識は正答率は 50%程度であった。HIV は比較的身近に意識している傾向が認められた。性感染症の罹患率は 40%と福岡県より 10%低かった。

研究Ⅱ. 1. 6月より木曜日もオープンとし、週4とした。オープンスペースの設置。2. 演者を固定して講演会を偶数月の第3日曜日に「エイズと『ゲイコミュニティ』」と題し5回シリーズで講演を行った。3. 奇数月の第3日曜日には mabui に来場したことのない人を mabui に誘導することを主に目的としたイベントを開催した。4. nankr 童（わらばー）で資材のデリバリー実施。コンドームは沖縄県固有のデザインを取り入れた。コミュニティペーパー「nankr」今年度は4回の発行を計画。発行部数は3000部を基本とした。コンドームを設置しているゲイバーに加えゲイアダルトショップ1軒、発展場5軒、ゲイ専用宿泊施設2軒にも設置した。5. 1) クラブイベント、2) 沖縄ゲイ裏掲示板へのバナー設置、3) 発展場及びショップにポスターやコミュニティペーパーの設置、6. 7月よりホームページを再開した。7. 沖縄を訪れる県外の方へのアプローチ 1) スポーツ大会、2) ビーチパーティ、3) 県外沖縄系クラブイベント。

8. 1) ツイッター。2) nankr のメルマガ「オキマガ」を開設した。9. 1) 沖縄県主催 MSM を対象として検査会、2) 沖縄県と（公財）エイズ予防財団共催の MSM を対象とした検査会、3) ブラジル人陽性者との交流。

考察：

研究Ⅰ. 今回のアンケートは同研究を実施している博多地域と比較し、沖縄県特有の状況が顕在化した。Y群では一人暮らしの割合が博多より1/3少なく、正規雇用の割合も30%程度低かった。就職率が低い県内の雇用状況の中、経済的に自律困難な状況で親との同居率が高く、それが地方の特殊性としてプライバシー情報の開示に抵抗があることが推察され、対面型の商業施設以外の場所でのアプローチ方法の開発が必要と思われた。

研究Ⅱ. コミュニティセンターへのリピーターを増やす戦略を考える必要がある。インターネットを利用した勧誘は有用であり、これらのツールの開発を今後も検討する必要がある。

本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た（ID番号 08008）。

研究Ⅰ.

A. 研究背景と目的

沖縄県における HIV 感染者の増加は 1999 年より顕著となり、平成 19 年度以降、連続して全国 3 以内を占めており、その 85%以上が MSM である。AIDS の届出は 2011 年は 11 件と初めて 2 桁となり、受検の向上が急務である。

以上より、沖縄県における HIV 感染の増大は大部分が MSM 間で起きており、病期の進行した症例が多くを占めていることが明らかとなり、MSM における検査受検率を現状よりも高めて、感染者を速やかに医療機関へとつ

なぐことが喫急の課題と言える。

これらの背景から、今回は沖縄県内の MSM を対象に、沖縄県在住の MSM における HIV を含む性感染症罹患歴や HIV 受検行動調査、リスク行動の有無を把握することを目的としてアンケート調査を行った。

B. 研究方法

1. 組織と方法

当事者を中心とした NGO 団体 nankr と協働し質問紙調査を実施した。実施期間は 2011 年 10 月 2 日、10 月 9 日、10 月 23 日であった。